

1. 投稿者の資格

投稿者は共著者もふくめ原則として神奈川母性衛生学会会員に限る。

2. 論文の種類

論文の種別は、総説、原著、資料、その他とし、女性の健康、保健の増進に寄与しうるもので、他誌に発表していないものに限る。

- 1) 総説：ある主題について知見を多面的に収集、または文献等をレビューし、総合的に概説したもので、査読により学術的意義の認められたもの。
- 2) 原著：科学論文として論理的で独創的な新知見が示されており、女性の健康、保健の増進の側面から学術上の価値があると査読により認められたもの。
- 3) 資料：女性の健康、保健の増進において、臨床や教育現場に何らかの示唆をもたらし、査読により資料的価値があると認められたもの。例えば、実践報告・各種の活動紹介など。
- 4) その他：編集委員会が依頼したもの、もしくは適当と認められたもの。

3. 倫理的配慮

ヒトを対象にした研究論文は世界医師総会（World Medical Assembly）において承認されたヘルシンキ宣言（1964年承認、2013年修正）の精神に準拠し、文部科学省あるいは厚生労働省から告示されている「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の最新のものを守り行なわれたもので、倫理委員会等の審査を受け承認されたものでなければならない。実践報告や各種の活動報告(パンフレット作成等)など倫理審査を受けていないものは、実際に行った倫理的配慮を本文中に記載すること。

4. 利益相反に関する事項の開示

投稿論文の内容に関し、共著者を含めた全著者は当該論文の利益相反に関する状況を開示しなければならない。

なお、掲載論文の末尾に「本論文内容に関連する利益相反事項はない」又は「著者〇〇〇〇は△△△△との間に本論文内容に関連する利益相反を有する」と記載する。

5. 原稿の作成

原稿の作成は下記の 1) から 4) に従う。

- 1) 原稿は A4 判横書きとし、1 頁 40 字×30 行（約 1,200 字）、MS 明朝 10.5 ポイントにて作成する。
- 2) 原稿の文字数は、要旨（和文 600 字以内）、本文（図表、引用文献）を合わせて以下の文字数とする。
図表について A4 判 1 点を 2400 字、A5 判 1 点を 1200 字、A6 判 1 点を 600 字相当と換算する。
 - (1) 総説、原著、資料：19,200 字以内
 - (2) その他：12,000 字以内
- 3) 原稿は、著者情報シート、要旨、本文(図表、引用文献)より構成される。
- 4) ヒトを対象とした研究論文は、倫理審査の承認番号を本文内に記載する。
- 5) 留意事項
 - (1) 図表は、本文とは別に 1 ページに 1 点作成し、本文右余白にそれぞれの挿入希望箇所を指定する。図のタイトルは下に、表のタイトルは上に記載する。なお、図表は、そのまま製版が可能な水準のものとする。

- (2) 本文の見出しに使用するナンバーは、I>1>1)>(1)>①の順で用いる。
- (3) 各ページの下部中央にページ番号を付し、ページの左端には行番号を付す(各ページ振り直し)。
- (4) 原稿中の算用数字は全て半角を使用する。
- (5) 原稿中の括弧や句読点、特殊記号は、和文中では全角、英文中では半角で統一する。
- (6) 引用文献は次の様式によって記載する。

本文中の引用文献①と引用文献リスト②の内容が一致することを確認する。また、文献情報は原典と相違ないことを確認する。

- ① 本文中の引用文献の記載は、著者名、発行年次、場合によって引用頁かパラグラフ番号を括弧表記する。著者名は 1 名のみ表記し、それ以上は他(英語文献の場合は et al.)とする。
- ② 引用文献リストの記載はアルファベット順に列記し、記載方法は下記の例示を参考にする。ただし、共著者は 6 名まで表記し、それ以上は他(英語文献の場合は et al.)とする。

ア 雑誌掲載論文

執筆者名(発行年次). 表題. 雑誌名, 号もしくは巻(号), 引用した論文の最初のページ数-最後のページ数.

例1) 中村幸代, 堀内成子, 毛利多恵子, 桃井雅子(2011). 妊婦の冷え症の特徴—ブラジル人妊婦の分析. 日本助産学会誌, 24(2), 205-214.

例2) Anders, T.F. & Sostek, A.M. (1976). The use of time lapse video recording of sleep-wake behavior in human infants. *Psychophysiology*, 13(2), 155-158.

イ 単行本

編著者名(発行年次). 書名 (版). 引用箇所最初のページ数-最後のページ数, 発行地: 出版社.

例) 亀山富太郎監修(1996). ハイリスク新生児への早期介入—新生児行動評価—pp.4-11, 東京: 医歯薬出版.

* 書籍の中から一部の章を引用する場合

例) Sameroff, A.J. (1993). Model of development and risk. In C.H. Zeanah, Jr. (Ed.), *Handbook of infant mental health* (pp. 5-9). New York: The Guilford Press.

ウ 翻訳本原著者名(発行年次)/訳者名(翻訳書の発行年次). 翻訳書名(版). 引用箇所最初のページ数-最後のページ数, 発行地: 出版社.

例) Thomas, A., et al & Chess, S. (1980)/林雅次監訳 (1981). 子供の気質と心理的発達. pp.69-77, 東京: 星和書店.

エ 電子情報

サイトの設置者名と発行年(または発行日), タイトル, URL

例) 厚生労働省(2012). 平成 24 年度両立支援ベストプラクティス普及事業—中小企業における両立支援推進のためのアイデア集 (改訂版). http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu_shien/pdf/bp.pdf

- (7) 掲載予定の論文の著者校正は 1 回のみとする。また、校正の際の大幅な加筆、修正は認めない。

6. 論文の掲載料

規定を越える部分の印刷に要する費用は著者の負担とする場合がある。カラーによる印刷は有料とする。

7. 投稿論文の採否、掲載の順序

投稿論文の採否は、査読者の意見を参考にして編集会議で決定する。掲載の順序は原則として投稿順による。採用した原稿および CD・USB 等は原則として返却しない。

8. 論文の別刷

別刷を希望する場合の費用は投稿者の負担とする。部数は最低 50 部とする。

9. 原稿の送付方法および送付先

論文は電子投稿をお勧めするが、郵送の場合は、本文・図表のファイル分けをして、word, excel もしくはパワーポイントの形式で添付する (PDF ではない)。必ず論文がファイルに保存された CD または DVD・USB を添付する。原稿の送付先は下記宛とし、責任者の連絡先を明記したものを同封する。

また、提出の際は、「投稿チェックリスト」と「著者情報シート」も提出すること。提出された原稿及び電子媒体は原則として返却しない。

10. 著作権

本誌に掲載した論文の著作権は神奈川母性衛生学会に帰属する。

著作権譲渡に関して、筆頭著者は自身を含めすべての共著者が同意したことを確認し、投稿チェックリストの該当箇所をチェックすること。

11. その他

二重投稿が明らかになった場合には、筆頭著者及び共著者は 3 年間本学会誌への投稿は受理しない。

また、投稿、掲載された論文は二重投稿と判明した時点で削除、却下する。

以下の全てに該当する内容の論文を二重投稿とみなす。

- ・ 対象が基本的に同じであること
- ・ 方法が同じであること
- ・ 結果・考察に新しいものがないこと

12. 投稿の注意点

「投稿チェックリスト」および「著者情報シート」を正確に記入して、論文に添付すること。

チェックリストに誤りがある場合、論文を受理しない場合がある。

〒236-0004

神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学医学部看護学科

母性看護学領域内

神奈川母性衛生学会誌 編集委員会

e-mail: kanabo@yokohama-cu.ac.jp

2019 年 12 月 改正

2023 年 2 月 一部改正